

高機能自閉症

高機能自閉症とは、3歳位までに現れ、①他人との社会的関係の形成の困難さ、②言葉の発達の遅れ、③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいう。

また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

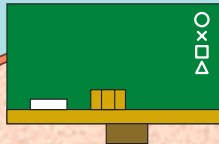
「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」（平成15年3月 特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議）より

本人のこだわりのために他の子どもの言動が許せないことがある、会話が一方通行であったり応答にならなかつたりすることが多い、相手の気持ちを察したり周りの状況に合わせて行動したりすることが苦手といった様子が見られ、このため、対人関係のトラブルが起きる場合があります。

※アスペルガー症候群

高機能自閉症に似た状態を示す発達障害として、アスペルガー症候群があります。アスペルガー症候群とは、「知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないもの」とされています。

LD、ADHD、高機能自閉症等の発達障害は、一人の子どもに重なって現れることがあります。例えば、LDに特有の問題と高機能自閉症に特有の問題と一緒に現れる場合があります。



発達障害のある子どもへの支援

支援のポイント1

一人一人の教育的ニーズの的確な把握

支援に当たっては、まず、一人一人の実態把握を学習や行動（例えば、得意なこと、苦手なこと）、対人関係の形成の状況、学校生活への適応状況など様々な観点から行っていきます。なお、一人の教師の理解や判断では十分にその実態を捉えることが困難な面もあります。そのため、校内委員会等において話合いの機会をもち、全教職員の共通理解を図る必要があります。

支援のポイント2

自己肯定感を高める支援の工夫

発達障害のある子どもたちは、大人からの叱責や注意を受けやすいため、自信を失う場合があります。それを防ぐためにも、子どもたちの長所を見付け、適切な行動を教えるなど、温かい雰囲気のもとで子どもたちが自己肯定感を高められるような支援の工夫が求められます。